

事務事業名	甲西図書館子どもの読書活動推進事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12461					
	□ 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保					
			所属担当	甲西図書館	担当者名	小田切 由美子					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	01	一般	10	04	04	060	08	
施策	35	生涯学習システムの推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業		<input type="checkbox"/> その他の事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	法令根拠		図書館法 南アルプス市立図書館条例				
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 子どもの発達段階に応じた読書支援 ・おはなし会・おはなし会スペシャル・英語のおはなし会・安藤家おはなし会等の開催 ・工作教室・科学教室・保育所出前サービス・読書フェスタ・クリスマス会等の開催 ・絵本講座(親子で楽しむ絵本の会)及び出前絵本講座の開催 ・図書館見学・職場体験等の受け入れ			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				消耗品費	26						
			食料費	5							
						計 31					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 おはなし会の開催・各種事業の開催 図書館見学、職場体験の受入	27年度活動予定 おはなし会の開催・各種事業の開催 図書館見学、職場体験の受入	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア おはなし会の開催回数 回数 イ 各種行事の開催回数 回数 ウ 図書館見学・職場体験の実施回数 回数
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	子どもとその保護者		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア おはなし会の参加人数 人数 イ 各種行事の参加人数 人数 ウ 図書館見学・職場体験の参加人数 人数
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	本の楽しさを知り、本や図書館に親しむようになる。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 18歳以下の貸出点数 点数 イ 18歳以下の利用人数 人数 ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	児童書の貸出冊数が増える。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 児童書の年間貸出点数 点数 イ

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	28	30	31	31	31	31	
事業費計(A)		千円	28	30	31	31	31	31	0	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	434	434	187	187	434	434	
		人件費計(B)	千円	1,975	1,975	851	851	1,975	1,975	0
		(A)+(B)	千円	2,003	2,005	882	882	2,006	2,006	0
活動指標	ア	回数	55.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	
		回数	10.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	
		回数	5.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
対象指標	ア	人数	1,064.0	1,034.0	1,065.0	1,096.0	1,128.0	1,161.0		
		人数	311.0	288.0	296.0	304.0	313.0	322.0		
		人数	155.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
成果指標	ア	点数	10,143.0	10,839.0	11,164.0	11,499.0	11,843.0	12,198.0		
		人数	1,265.0	1,519.0	1,564.0	1,611.0	1,659.0	1,708.0		
上位成果指標	ア	点数	26,477.0	28,178.0	29,023.0	29,894.0	30,790.0	31,713.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H17年7月23日に市立甲西図書館としてリニューアルオープンした。当時より、地域館の特色を生かし、児童書の収集・充実、また子育て支援等読書活動の場の提供に力を入れている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	図書館としての環境も年々整い、利用者・利用冊数・事業参加者が増えた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	毎週、また毎月行っているおはなし会や様々な事業は好評で、参加者が年々増えている。また、参加者からは、「楽しみにしている」と言う声もよせられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	おはなし会を毎週木曜日と毎月第2土曜日に実施し、また、他課との合同事業として外国語のおはなし会・安藤家おはなし会等の開催や工作教室・科学教室・保育所出前サービス・読書フェスタ・クリスマス会等をしてきた。他、絵本講座(親子で楽しむ絵本の会)及び出前絵本講座の開催・図書館見学・職場体験等を実施してきた。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	国際交流協会との合同で実施した「外国語のおはなし会」を市内に広めたいので市立図書館事業とし、年2回のうち1回を白根で行った。内容等も工夫し、多くの参加者を得た。

事務事業名	甲西図書館子どもの読書活動推進事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 南アルプス市子どもの読書推進活動計画に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 南アルプス市子どもの読書活動を推進するためには必要な事業である。現在事業の実施にあたっては、図書館ボランティア等の協力を得ている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域の子どもたちの受け皿としての図書館の活動として妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 特色ある図書館事業を計画し、さらにPRを強化していくことで成果を向上させることができる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 読書活動推進のために、身近な図書館での事業は必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 南アルプス市の子どもたちが、小さいときから身近な場所ですべてにふれ、楽しむ機会をつくることは大切である。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 南アルプス市の子どもたちが、小さいときから身近な場所ですべてにふれ、楽しむ機会をつくることの大切さを考えると休止・廃止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 年間3万円の予算のなかで全職員で様々な企画をし運営を工夫している。以上削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 正規職員1人、常勤臨時職員2人の3人体制で実施している事業のため、これ以上の削減の余地はない。また事業の実施にあたっては、図書館ボランティア等の協力を得ている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 事業への保護者の理解やより多くの子どもたちの参加を呼びかけるためには、各団体等との連携や広報活動をより充実していく必要がある。今後も児童館等との連携した事業を行い更なるPRに努めたい。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・「おはなし会スペシャル」「感想文おたすげ隊」を実施 ・国際交流協会との「外国語のおはなし会」、文化財課との「安藤家でおはなし会と昔あそびの会」を実施 少ない予算で工夫を凝らした事業展開をし、昨年度よりも多くの参加者を得た。 今後は、周知や広報活動に努める事が望まれる。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
①おはなし会の内容をさらに精査しながらも、利用者にも心待ちにしてもらえるものにしていく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
①おはなし会を行なう職員(他の人)の技量を上げる研修等を重ねる。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑤																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					